

北川かっぱの会

第24回総会

2019年3月9日(土) 15:00~17:30

中央公民館

議 題

1. 2018年度の活動報告—成果と課題
2. 2019年度の活動方針と年間計画
3. 財政報告と2019年度予算案
4. 新役員選出

1. 2018年度の活動報告—成果と課題

1 北山公園の水環境の改善と在来生物の保護に取り組んできました

北山公園での生物多様性を保全していくために、4月にしょうちゃん池のかいぼりが実施されました。かいぼりの実施にあたっては、市やNPO birth（市の委託先）との役割分担を明確にしながら最大限の実施協力を行ってきました（北川かっぱの会では、主に魚の捕獲、運搬、計測、展示を担当）。かいぼりについては、多くの市民が参加し、また北山公園の生物多様性を保全していく意義を多くの市民に発信することができました。一方、北山公園の生物多様性を適切に管理していくために、かいぼり後の生物相がどう変化していくのか、継続的にモニタリングを行っていく必要があります（2018年度はNPO birthが実施しているが、2019年度以降の実施については不明）。

このかいぼりに併せ、水際に在来植物の植生帯を造成（八国山緑地二つ池の浚渫土を移入）しましたが、埋土種子からの発芽は確認できませんでした。また、今回のかいぼりでは、乾燥化しているしょうちゃん池奥の湿地環境を改善していくために、池（南側）から導水することの実施には至りませんでした。次回のかいぼり時に導水することができるよう、市に働きかけを行っていく必要があります。

菖蒲田の水路は改修工事を実施中（3月中に完成予定）ですが、生き物にやさしい工事となっているか、個々の田面ごとに本当に水を抜くことができるようになったのか等の観点から工事の状況を見守っています。また、市の水量調査の結果（2016年度）、北山公園では水は足りているが水漏れが多いことが明らかとなったことから、北山公園内に通年で水（流水と止水）確保を目指し、北山公園整備計画等意見交換会（以下、「川端会議」と記載）の場で具体的な対応策（北川からの取水方法や地下水の利用（浅井戸）、既存池（止水）の活用（改良）など）を検討することが課題となっていました。今年度は具体的な進展はありませんでした。

北山公園の生物多様性や景観、地域の文化などを次世代に継承していくためには、東村山では消滅寸前となってしまう水田環境を適切に保全していくことが重要です。昨年末、北山公園内の学校田が廃止されることが明らかとなりましたが、何らかの形で水田環境を保全していく必要があります。また、学校田東側の水田（私有地）部分については2017年以降、稲作が再開されていますが、周囲にはオリーブが植樹されており、今後の動向を注視していく必要があります。

ウシガエルやミシシippアカミミガメ（以下、「アカミミガメ」と記載）、アメリカザリガニなど外来生物の防除活動に引き続き取り組んできました（後述）。

2 北川や北川流域の環境の改善に取り組んできました

北川では、北川の落差工（小さなダム）解消プロジェクトの中で、落差工の改善策案を検討し、「アユが遡上する北川」を目標に、市民プランという形で具体策の提案を行う予定です。しかし、設計の基礎データとなる水量について継続して水量調査を実施しているものの、十分な頻度で実施することができませんでした。

川そうじ（北川クリーンアップ）は当会にとって中心となるイベントであることから、さらに活動の輪を広げていくための検討が必要です。北川かっぱの会では、川端会議の場で北川クリーンアップの清掃区間の変更を提案してきましたが、昨年秋の北川クリーンアップから集合場所の変更も含めて実施されることになりました。今後は、変更後の区間でどのように活動の輪を広げていくのか検討し、実践していく必要があります。

外来生物の防除（後述）も活動の中心になりますが、人為的に放流されたコイについても、在来水生昆虫等の脅威となっているため注視してきましたが、コイの個体数は減っていない状況にあると思われます。

2016年に2回目のかいぼりを実施した北川最上流部、狭山公園内宅部池の再生を目指してきました。2017年度に実施された狭山公園生物多様性保全利用検討会（東京都主催；東京都や指定管理者、市民活動団体、地元自治会などが参加）の中で、池を含む狭山公園全体の生物多様性の保全利用について検討されてきましたが、その検討結果に基づき、池の水辺の復元（池岸に湿地帯を創出、同池に流入する源流部の湧水地周辺の鳥類の隠れ場の維持など）に向けて、東京都で実施設計を行う方向で検討されています。

北川の水源涵養域である八国山緑地について、生物多様性保全のために都の「多様な生物が生息する都市公園づくり事業」完了したところですが、北川流域を含む東村山市全域について、生物多様性基本法の努力義務である「生物多様性地域戦略」を策定することを市に提言する準備を始めました（H27年3月現在羽村市・あきる野市等62市区町村が策定済）。

3. 外来生物の防除

引き続き、北山公園を中心に流域の外来生物の防除に取り組んできました。

北山公園では特定外来生物のウシガエルや侵略的外来種のアメリカザリガニ、アカミミガメ等が繁殖しているため、カゴアミや日光浴ワナなどを使って捕獲し、昨年はウシガエル（成体）44、ウシガエル（幼生）282、アメリカザリガニ354、アカミミガメ3、クサガメ2を捕獲しました。また、7月にはアライグマ2がカゴアミで捕獲されました。また、北山わんぱく夏まつり時には「ウシガエル捕獲大作戦」を開催し、子どもたちも巻き添えにしながらの捕獲活動を行ってきました。

昨年は6月の菖蒲まつりで、はじめて北山水族館の展示を行ったのを契機として、「トウキョウダルマガエルを守ろう！キャンペーン」を実施し、多くの市民に北川の自然や外来生物の問題点をアピールすることができるとともに、多くの寄付金を集めることができました。

昨年は、当会が提案していた北山公園しょうちゃん池のかいぼりが実施され（市主催、受託者NPO birth、協力北川かっぱの会）、多くの市民とともに池の外来種（タイリクバラタナゴやオオクチバスなど）や在来種を捕獲することができました。また、かいぼりの実施に併せて八国山二つ池の浚渫土をしょうちゃん池に移入しましたが、埋土種子の発芽には至りませんでした。一方、昨年は、一昨年実施された市主催の外来種バスターズ入門講座や外来種の駆除大作戦は開催されず、これらの開催の定例化などが課題として残りました。

外来生物を防除していくためには、市民に対して外来生物の現状と問題点をより強力にアピールしていく必要があると思われますが、イベントの開催や他団体主催のイベントでの展示、「北川ルール」の看板、かっぱ通信などでのアピールを継続していくとともに、アピールの質を高めていく工夫も必要と思われます。

4 北川および周辺環境の環境変化を捉えるため、北川の水質や投棄ゴミと併せて、周辺で見られる鳥類などの生息状況について継続的に調べてきました。

【水質調査】

6月3日の全国の川・一斉調査に参加し、例年と同様に北川と前川の調査を担当しました。昨年と同様に、一部を除き透視度は高かったものの、有機物量の指標であるCOD濃度の値は、晴天続きで流量が少なかったためか、ほとんどの地点で4ppmと例年に比べて若干高めの傾向でした。

近年、参加者が少なくなっている事への対策が課題です。

【ゴミ調査】

北川水辺倶楽部が主体となって毎月実施している「定例川そうじ」では、1999年度から収集したゴミの量を継続して記録してきました。ゴミの総量は2004年度をピークに確実に減少傾向にあります。ゴミの内、缶やペットボトルなど「特定ゴミ」の本数も2003年度をピークに減少してきている中、特にビン・ワンカップ等の危険ゴミは2017年度以降、かなり減少しています。

【生物調査】

- ① 北川の魚類等：主に8月5日のわんぱく夏まつりの「北川水族館」展示の機会を利用して調べました。出現種は例年とほぼ同様で、今年はヨシノボリ類、モツゴ、ドジョウなどが比較的多くみられました。外来生物では、相変わらずウシガエルの幼生（オタマジャクシ）～小カエルが公園内の水路や菖蒲田を中心に多数確認されました。アメリカザリガニとともに積極的に捕獲していますが、今後も継続的に防除活動を行っていく必要があります。
- ② 北川の底生生物（川底の泥中や石の裏などに棲む生き物）：今年度も計画立てて調べることはできませんでしたが、‘ややきれいな水’～‘きたない水’に多い種類が主体であることは例年同様です。
- ③ 北山公園周辺の陸域生物（鳥類・チョウ類・トンボ）：有志による任意観察結果を主体に、夏まつり、みどりの楽校、市内小学生の環境学習（主に6～2月の土曜講座など）などのイベントの際のデータなどが当会HPからリンクされています。これまでのデータの蓄積により、八国山を含めた当会のフィールドの鳥類・チョウ類・トンボ相が明らかになってきました。

これらの調査結果の一部は、ホームページで公開しています

5. 北山わんぱく夏まつりの開催と環境学習の支援を推進してきました

北川と流域の自然環境の保全のための活動を推進していくために、主として次世代を担う地域の子どもたちを対象とした環境学習への取り組みに、引き続き力を入れてきました。

最大のイベントのひとつである「北山わんぱく夏まつり」（8/5）は、東村山市など様々な方面からの協力を得て、子どもたちへより多くの楽しいメニューを提供することができました。本年も実行委員会を早期に立ち上げ、検討・準備をすすめました。「夏まつり宣言」により、開催の意義や私たちの思いを参加者に伝えました。加えて、夏まつり専用のフェイスブックページ、ホームページで市民向けに広報しました。

小学校の土曜講座には積極的に参画しました。プールのヤゴ救出（5/26 北山小）、狭山公園ホテル観察（6/23 北山小；雨天中止）、落合川水遊び（6/30 富士見・南台小、北山小）、八国山の昆虫（7/14 北山小、7/15 富士見・南台小）、北川の生き物（9/1 北山小）、トンボ捕りとヤゴいかだづくり（10/6 北山小）、八国山&北山公園の野鳥観察（1/5 富士見・南台小）、狭山公園の野鳥観察（2/9 北山小；雨天中止）で、児童の川やみどり等についての理解・体験をサポートしました。なお、北山小学校の土曜講座関係の参加者数は、児童、その兄弟、保護者の合計（4回の行事）で延べ164人でした。

北山いきもクラブは天候にも恵まれ6回開催しましたが、多くの来訪者が水族館展示に見入り、北山公園の生物多様性について考えるきっかけになったと思われ、また多くの親子連れが北川などでの魚とりを楽しむきっかけとなっていました。

6 市役所や関係団体との連携を図ってきました

昨年も、川端会議などの場で、北川流域の自然環境の保全を目指し、市役所との協働に努力してきました。その結果、北川クリーンアップや北山わんぱく夏まつりの開催、北川カヌー（夏まつり）を実施するための北川の堰き止めと撤去作業、北山公園の外来生物対策の実施などについて、市と

連携しながらスムーズに実施することができました。川端会議の場では、北山公園でのトウキョウダルマガエル等の絶滅危惧種の保護や外来生物の防除、北川クリーンアップの実施区間の見直しなどの議論が進みました。また、市からの提案に基づく「北山公園の外来種防除に関する協定書」の締結に向けて協議を進めました。この協定書では、市と北川かっぱの会が協働の観点から対等な立場で連携や情報の共有を行っていくこと、両者の役割分担、防除活動を行っていく際に公園内の施設に立ち入る時のルール、活動の成果物の帰属などについて定め、より円滑に公園内の希少種を含む在来生物の保全につなげていくことを目指しています。

昨年、狭山公園や八国山緑地などの都立公園を東京都から受託して管理している「西武・狭山丘陵パートナーズ」との連携をさらに深化することができました。7月の「狭山三公園管理運営協議会（東京都が設置、主催は西武・狭山丘陵パートナーズ）」をはじめとし、2018年1月の「八国山緑地わいわいミーティング」に参加することなどにより、北川流域の環境保全に向け意見交換を行うことができました。また、3月に実施された「狭山公園湧水の池生き物調査（西武・狭山丘陵パートナーズ主催）」では、狭山公園友の会とともに調査を実施しました。

昨年は、狭山公園について都主催の「多様な生物が生息する都市公園づくり事業」が実施となり、生物多様性保全利用計画を策定する検討会に参加し、宅部池の護岸に湿地帯を創出することや同池に流入する源流部の湧水地周辺の鳥類の隠れ場の維持などについて議論を深めることができました。

その他、新河岸川水系水環境連絡会と連携し6月の全国の川・一斉水質調査に参加するとともに、新河岸川流域しんぶん「里川」への北川関係の原稿作成などにも協力を行ってきました。「北川・八国山・北山公園のいきもの」の編集では、八国山たいけんの里自然部会との協働作業を行ってきました。また、柳瀬川流域水循環再生市民懇談会や柳瀬川流域ネットワークについても参加してきました。

7 地域への情報発信力を強化するとともに、会員内外の交流の拡大を図ってきました

地域や会員へ情報提供を行っていくために、「かっぱ通信」を年5回発行しました（2、4、7、10、12月発行）。また、地域への情報発信力をより高めていくために、ホームページの内容の定期的な更新（2か月に1回程度）、定期的なブログやフェイスブックでの発信（週2回程度）に取り組んできましたが、より訴求力のある内容としていく必要があると思われまます。

北山公園内の「水と緑の掲示板」の掲示を継続し、情報発信を行ってきました。「北川・八国山・北山公園のいきもの」では、季節ごとに見ることのできる動植物の写真を掲載し好評でした（春、初夏、夏、秋、冬編を掲示）。

昨年は、6月の菖蒲まつりでの北川水族館とパネル展示（北山公園）をはじめ、11月の土木学会企画展でのパネル展示（一昨年の市民普請大賞で準グランプリを獲得した内容；新宿駅西口イベントコーナー）や12月の市主催の環境フェアでのパネル展示（中央公民館）など、多くの市民に当会の活動状況についてアピールすることができました。

個々の活動にあたっては、引き続き、会員内外の交流の拡大、会員各自が興味のあるテーマやイベントに参加しやすい体制づくりをめざしてきました。かっぱ通信やフェイスブック、かっぱブログ、メール、ロコミを活用し、イベントや調査、打合せなどへの参加の呼びかけや各活動の実施結果などについて情報提供の充実化を図ってきました。

8 活動する人の層の底辺の拡大に努力してきました

北山公園や北川流域の自然環境の保全を行っていくためには、活動していく人の層の底辺の拡大、

特に若い世代の活動層の拡大を図っていくことが重要です。そのために、北山わんぱく夏まつりや川そうじ（クリーンアップ）、外来生物の防除、水と緑の掲示板の編集、環境学習の支援など、ボランティア募集を拡大、強化すべく努力してきました。また、昨年は新たに会員向けに野鳥観察会（2月）、キノコ観察会（6月）を開催し、好評でした。これらの結果、学生をはじめ若い世代の参加者が見られるイベントも出現するようになりました。今後も、様々な方々に参加していただけるようできるだけ多くのイベントを開催するとともに、ボランティアの募集情報を適切な時期に適切な方法で行っていくことや、積極的な声掛けなどにより、間口の広い受入体制を心掛けていく必要があります。

* 2018年の活動記録 *

日時	曜	イベント	場所
1月6日	土	北山・南台・富士見小「八国山野鳥観察」を支援	八国山
1月6日	土	臨時定例会	サンパルネ
1月7日	日	新規会員向け懇談会	サンパルネ
1月14日	日	八国山わいわいミーティングに参加	八国山、多摩湖ふれあいセンター
2月10日	土	会員向け野鳥観察会	狭山公園
2月10日	土	定例会	狭山公園
2月12日	休	「北川・八国山・北山公園のいきもの」春編の編集	八国山たいけんの里
2月17日	土	北山公園整備計画等意見交換会に参加	ふるさと歴史館
2月17日	土	深大寺のかいぼりを支援	深大寺
2月25日	日	かっぱ通信 121号発行	廻田公民館
3月8日	木	狭山公園生物多様性保全利用計画検討会(東京都主催)に参加	狭山公園パークセンター
3月10日	土	定例川そうじ	北川
3月10日	土	総会	中央公民館
3月11日	日	狭山公園「湧水の池」の生き物調査に参加	狭山公園
3月18日	日	外来生物駆除作業(網の仕掛け)	北山公園
3月18日	日	狭山丘陵フォトリケイニングに協力	北山公園
3月31日	土	外来生物駆除作業	北山公園
3月31日	土	北山公園しょうちゃん池かいぼり打合せ	市役所
4月6日	金	定例会	サンパルネ
4月8日	日	柳瀬川流域ネットワーク懇談会	清瀬
4月13日	金	二つ池浚渫土搬出、運搬作業	八国山、北山公園
4月14日	土	定例川そうじ	北川
4月14日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
4月14日	土	外来生物駆除作業	北山公園
4月20日	金	北山公園しょうちゃん池かいぼり準備作業を支援	北山公園
4月21日	土	北山公園しょうちゃん池かいぼり	北山公園
4月29日	日	かっぱ通信122号発行	廻田公民館
4月30日	休	北山わんぱく夏まつり実行委員会	サンパルネ
5月5日	土	「北川・八国山・北山公園のいきもの」初夏編の編集	八国山たいけんの里

5月5日	土	臨時定例会	サンパルネ
5月9日	水	かいぼり時に捕獲した在来種の放流	北山公園
5月12日	土	北山公園整備等意見交換会に参加	市民センター
5月12日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
5月12日	土	外来生物駆除作業を再開	北山公園
5月20日	日	北川クリーンアップ	北川
5月22日	火	外来生物駆除作業	北山公園
5月26日	土	北山小「ヤゴ救出作戦」を支援	北山小
5月26日	土	外来生物駆除作業	北山公園
6月2日	土	外来生物駆除作業	北山公園
6月2日	土	菖蒲まつりで「北川水族館」展示、募金活動	北山公園
6月3日	日	菖蒲まつりで「北川水族館」展示、募金活動	北山公園
6月3日	日	身近な水環境の全国一斉調査	北川、前川
6月9日	土	北山わんぱく夏まつり実行委員会	サンパルネ
6月10日	日	会員向け「きのご観察会」	八国山
6月13日	水	外来生物駆除作業	北山公園
6月19日	火	外来生物駆除作業	北山公園
6月23日	土	北山小「ホタル観察」を支援 →雨で中止	狭山公園
6月26日	火	外来生物駆除作業	北山公園
6月30日	土	富士見・南台・北山小「落合川に行こう」	落合川
7月3日	火	夏まつりチラシ印刷作業	廻田公民館
7月5日	木	外来生物駆除作業	北山公園
7月7日	土	狭山三公園管理運営協議会に参加	狭山公園パークセンター
7月8日	日	会員意見交換会	サンパルネ
7月8日	日	かっぱ通信 123号発行	中央公民館
7月11日	水	外来生物駆除作業	北山公園
7月14日	土	北山小「八国山昆虫採取」を支援	八国山
7月14日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
7月14日	土	外来生物駆除作業	北山公園
7月15日	日	南台・富士見小「八国山の昆虫観察」を支援	八国山
7月16日	祝	夏まつり実行委員会	サンパルネ
7月18日	水	外来生物駆除作業	北山公園
7月24日	火	外来生物駆除作業	北山公園
8月2日	木	外来生物駆除作業	北山公園
8月3日	金	北川堰き止め作業	北川
8月4日	土	夏まつり準備	北山公園、他
8月5日	日	北山わんぱく夏まつり	北山公園、北川、八国山
8月5日	日	外来生物駆除	北山公園
8月6日	月	北川の堰撤去作業	北川
8月9日	木	外来生物駆除作業	北山公園
8月23日	火	外来生物駆除作業	北山公園
8月30日	木	外来生物駆除作業	北山公園
9月1日	土	北山小「魚とり」を支援	北川

9月8日	土	北山公園整備計画等意見交換会に参加	市民センター
9月8日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
9月8日	土	外来生物駆除作業	北山公園
9月9日	日	「北川・八国山・北山公園のいきもの」秋編の編集	八国山たいけんの里
9月15日	土	定例会	サンパルネ
9月22日	土	夢ハウス 20周年記念イベントで展示(～30日)	夢ハウス
9月24日	休	外来生物駆除作業	北山公園
10月6日	土	北山小・トンボとりとヤゴいかだづくりを支援	北山小、北山公園
10月13日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
10月13日	土	外来生物駆除作業	北山公園
10月13日	土	かっぱ通信 124号発行	中央公民館
10月20日	土	トトロのふるさと基金の散歩会下見を案内	北山公園、八国山
10月21日	日	北川クリーンアップ、外来生物慰霊祭	北川
10月27日	土	トトロのふるさと基金の散歩会 →雨で中止	北山公園他
11月8日	木	狭山公園生物多様性検討報告会に参加	狭山公園パークセンター
11月10日	土	定例川そうじ	北川
11月10日	土	北山いきものクラブ	北山公園、北川
11月10日	土	外来生物駆除作業	北山公園
11月20日	火	土木学会企画展でパネル展示	新宿駅西口イベントコーナー
11月23日	祝	「北川・八国山・北山公園のいきもの」冬編の編集	八国山たいけんの里
12月6日	木	化成小総合学習を支援	化成小
12月8日	土	定例川そうじ	北川
12月10日	月	法政大学で北川かっぱの会の活動を紹介	法政大学
12月16日	日	かっぱ通信125号発行	廻田公民館
12月18日	火	環境フェア(市主催)でパネル展示(～23日)	中央公民館

2. 2019年度の活動方針と年間計画

1 北山公園の水環境の改善と在来生物の保護

北山公園の生物多様性を保全していくために、引き続き活動していきます。まず、しょうちゃん池水際の在来植物植生帯の造成（八国山緑地二つ池の浚渫土の移入等）は、2019年度以降、再度チャレンジすることを川端会議の場で提案し、実施する方向で調整していきます。また、しょうちゃん池奥の湿地環境の改善（しょうちゃん池（南側）から導水すること等）も、次回のかいぼり時に実施できるよう川端会議の場で提案し、実施する方向で調整していきます。

北山公園内に通年で水（流水と止水）を確保していく課題については、2019年度も川端会議の場で、具体策（北川からの取水方法や地下水の利用（浅井戸）、既存池（止水）の活用（改良）など）の議論を継続していきます。

現在実施されている菖蒲田の水路改修工事（3月工事完了）については、トウキョウダルマガエル等の希少種・在来種の保全を図っていくために極めて重要であることから、工事完了後もその効果（個々の田面ごとに水を抜くことができるのか、生き物が工事区域の内外で行き来ができるのかなど）について注視していきます。

在来生物等の調査は、これまで3年間 NPO birth が市から受託して行っていましたが、受託期間が終了する2019年度以降はどうか、継続的なデータの積み重ねの重要性に鑑みて議論が必要です。

北山公園の西側に位置する北山小と回田小の学校田が廃止になることが明らかになりました（学校田で実際の作業を行ってきた指導員が高齢化したこと等の理由により、学校田として維持管理していくことが困難になった）。これまで市教育委員会が管理運営を行ってきていましたが、今後、学校田だったところをどうしていくのか、市みどり公園課が主管課となって検討していくこととなりますが、現在のところ市としての方向性は出ていない状況にあります。北川かっぱの会では、北山公園一帯の生物多様性や景観を保全し、優れた自然及び文化遺産を後世に継承していくために、田んぼの形を残していくこと、田んぼを残していくために市民参加（ボランティア）を前提とした稲作の仕組みづくりを模索し提案していく方向とします。また、学校田東側の水田（民有地）部分については2017年以降、稲作が再開されていますが、周囲にはオリーブが植樹されており、今後も動向を注視していきます。

ウシガエルやアカミミガメ、アメリカザリガニなど外来生物の駆除に引き続き取り組みます（後述）。

2 北川や北川流域の環境の改善

北川では、北川の落差工（小さなダム）解消プロジェクトの中で、落差工の改善策案を検討し、「スッポンの復活・アユが遡上する北川」を目標に、市民プランという形で具体策の提案を行う予定で、基礎データとなる水量調査を継続実施します。

川そうじ（北川クリーンアップ）は、当会にとって中心となるイベントであることから、自治会や他団体との連携等、活動の輪を広げていく方向で工夫していきます。2019年は、北川クリーンアップの認知度を上げていくために、北山小土曜講座で呼びかけを行う方向で検討していきます。

外来生物の防除（後述）も活動の中心になりますが、人為的に放流されたコイについても、在来水生昆虫等の脅威となっているため注視していきます。

北川源流の狭山公園内宅部池では、護岸を湿地帯にし、同池に流入する源流部の湧水地周辺の鳥類の隠れ場の維持する方向で検討されており、その工事の実施に向けて国会としても働きかけを行っていきます。

北川流域を含む東村山市全域について、生物多様性基本法の努力義務である「生物多様性地域戦略」を策定に向けて、具体的な提案内容を検討していきます（H27年3月現在羽村市・あきる野市等62市区町村が策定済）。

3. 外来生物の防除

引き続き、北山公園を中心とした流域の外来生物の防除に取り組んでいきます。

今年度も特にトウキョウダルマガエル等の希少種にとって大きな脅威となっているウシガエルやアメリカザリガニの捕獲を継続していくとともに、新たにアライグマ対策についての検討を開始し市や市民に施策の提言を行っていくことを目指します。また、北山公園しょうちゃん池などでのアカミミガメ等の防除活動を継続していきます。さらに、菖蒲まつりなど主要なイベントでのトウキョウダルマガエルを守ろう！キャンペーンや北山わんぱく夏まつりでのウシガエル捕獲大作戦を継続していくとともに、市主催のイベント（一昨年開催の外来種マスターズ入門講座をベースとしたもの。ただし、予算が3月定例会で成立することが前提）の開催について市と連携していく方向とします。

外来生物を防除していくためには、市民に対して外来生物の現状と問題点をより強力にアピールしていく必要があると思われませんが、前述のトウキョウダルマガエルを守ろう！キャンペーンやウシガエル捕獲大作戦に加え、フェイスブックやかつぱブログ、かつぱ通信、北山公園水と緑の掲示板などでアピールしていきます。

4 継続的な環境調査の実施と調査結果の発信

地域の環境の現状を把握して今後の活動に生かしていきます。北山公園内の水路や池などを含めた、水質や魚類や底生生物などの生息状況や、北川に投げ捨てられるゴミの回収を通じた種類や量、ウシガエルやアカミミガメなどの防除活動の機会を利用した北山公園や北川での外来生物の生息実態の継続的な把握に取り組んでいきます。また、土曜講座などのイベント時に得られたデータも含めて、記録としてきちんと残していきます。これらのデータについては、とりまとめの上、効果的な情報発信を目指していきます。

【主な環境調査等の予定】

水質 全国の川・一斉調査 6月

生物 魚類等

定期調査 8月(夏まつり)

外来生物 3～11月 ウシガエルやアカミミガメ等外来生物の捕獲時

北山公園内の水路や池 (随時)

土曜講座や北山いきものクラブ (随時)

底生生物

定期調査 全国の川・一斉調査時 6月

土曜講座等 (随時)

全国水生生物調査

昆虫類

土曜講座・みどりの楽校等

チョウ類任意調査 (春～秋記録)

鳥類

土曜講座・みどりの楽校等

任意調査 (原則毎月記録)

その他

植物、カエル類、アライグマなど（時期等未定）

河道内のゴミ

定期調査 毎月1回

5 北山わんぱく夏まつりの開催と環境学習の支援を継続

北川や北山公園の自然環境の保全や再生のためには、主として次世代を担う地域の子どもたちを対象とした環境学習への取組みがとても重要です。

北山わんぱく夏まつりは、2016年から実施体制の大幅な見直し、委員会の早期の立上げを行いました。2019年も同様に実行委員会を早期に立ち上げサポーター体制等の充実に取り組めます。北山わんぱく夏まつりのイベントとして実施されてきた「八国山虫取りハイク（市みどりの楽校主催）」については、昨年同様、定点観測型の観察の動機づけを中心とした企画内容で調整していく方向とします。

小学校の土曜講座への参画は重要な取り組みとして位置付け、内容をより充実させていきます。なお、引き続きサポーターの人的資源の不足を抱えており、参加してくれた父兄や若い世代を取り込んで、より多くの会員の参画が得られるよう働きかけていきます。また、新たに講師となってもらえる人の発掘を行っていく方向とします。さらに、小学1年から6年までの参加者が対象となっており、同時に解説することが難しくなっています。年齢層別に解説者を分けて実施することを検討します。

一昨年創設した北山いきものクラブの活動は今年も継続して実施します。また土曜子ども講座参加者や化成小学校への呼びかけを行う他、当日に胴長の貸与も行っていく方向とします。

6 市役所や関係団体との連携を重視

北山公園や北川の環境保全、多摩湖緑地の維持管理等のために、引き続き市との連携を重視していきます。川端会議への参加にとどまらず、北山わんぱく夏まつり、北川クリーンアップ、外来種の防除などのイベントの機会を通じて連携を図っていきます。また、3月末を目途に「北山公園の外来種防除に関する協定書」の締結に向けて協議を進めます。

また、様々な課題の解決を目指し、引き続き西武・狭山丘陵パートナーズや八国山たいけんの里自然部会、トトロのふるさと基金、生態工房、東村山の原風景を守る会、空堀川に清流を取り戻す会、柳瀬川水系水環境連絡会、柳瀬川流域ネットワークなどとの連携を継続していきます。

7 地域への情報発信力の強化

北山公園や北川流域の自然環境の保全について市民の理解を広く得ていくために、当会の活動や北川流域の自然のすばらしさや問題点についてのアピールを継続していきます。アピールにあたっては、より訴求力を高めた内容とし、調査結果を踏まえた提言活動の強化（外来種の防除、希少種の保全、ゴミ対策など）を目指します。

かっぱ通信については、引き続き年5回（2、4、6、10、12月）発行していきます。また、フェイスブック、ブログ、ホームページについてはそれぞれの特徴を生かし、それぞれの役割を明確にするなど内容充実に取り組んでいきます。また、北山公園内の「水と緑の掲示板」を活用し、北川や八国山、北山公園で季節ごとに見ることができる生き物や、外来生物関係の情報、イベント情報等の掲示について継続して取り組んでいきます。さらに、トウキョウダルマガエルを守ろう！キャンペーンの実施、ウシガエル捕獲大作戦の実施に加え、他団体主催の展示会や講演会などの機会があれば当会の活動状況をアピールしていきます。

また、かっぱ通信の記事「かっぱの楽校 生き物講座」が今年 100 回掲載を達成するのを記念し、新たな出版物などの企画を検討していきます。

8 活動する人の層の底辺の拡大

北山公園や北川流域の自然環境の保全を行っていくためには、活動していく人の層の底辺の拡大、特に若い世代の活動層の拡大を図っていくことが重要です。そのために、北山わんぱく夏まつりや北山いきものクラブ、川そうじ（クリーンアップ）、外来生物の防除、水と緑の掲示板の編集、環境学習の支援などでボランティア募集を強化していきます。ボランティアの募集にあたっては、これまでとは異なるチャンネルで参加者を募る、ファミリー層が参加しやすいイベントづくり（とにかく楽しいイベントづくり、人と人との出会いの場の形成など）、他団体との連携などを目指していくこととします。また、様々な方々に参加していただけるようできるだけ多くのイベントを開催するとともに、ボランティアの募集情報を適切な時期に適切な方法で行っていくことや、積極的な声掛けなどにより間口の広い受入体制を整えていきます。

* 2019年の年間スケジュール予定*

日時	曜	イベント	場所
1月5日	土	富士見・南台小「野鳥観察」を支援	八国山、北山公園
1月5日	土	定例会(終了後、新年会を開催)	サンパルネ
1月26日	土	学習会(新しい市政を市民がともしつくる会)で講演	市民センター
2月9日	土	会員向け野鳥観察会 →雪のため中止	狭山公園
2月10日	日	定例会	サンパルネ
2月12日	火	市役所との打合せ	市役所
2月16日	土	北山公園整備計画等意見交換会	市民センター
2月23日	土	かっぱ通信 126号発行	廻田公民館
3月9日	土	「北川・八国山・北山公園のいきもの」春編の編集	八国山たいけんの里
3月9日	土	総会	中央公民館
3月10日	日	狭山公園湧水の池の生き物調査に参加	狭山公園
3月17日	日	春のうららかウォーキングに協力	北山公園、北川
3月17日	日	外来生物駆除作業	北山公園
3月17日	日	定例会	北山公園
4月13日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除	北川、北山公園
		かっぱ通信 127号発行	廻田公民館
		定例会	
		夏まつり実行委員会	
		「北川・八国山・北山公園のいきもの」初夏編の編集	
5月11日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除	北川、北山公園
5月11日	土	北山公園整備計画等意見交換会に参加	市民センター
5月19日	日	北川クリーンアップ	北川
		北山小「ヤゴ救出作戦」を支援	北山小
6月2日	日	全国一斉水質調査	北川、前川
6月	土	菖蒲まつりに出展	北山公園

6月8日	土	定例川そうじ 夏まつり実行委員会、定例会 外来生物駆除 富士見・南台小「八国山昆虫採取」を支援 北山小「ホタル観察」を支援 富士見・南台・北山小「南沢湧水で遊ぶ」 「北山公園・八国山見どころマップ」夏編の編集 かっぱ通信 128号発行	北川 北山公園 八国山 狭山公園 南沢湧水 八国山たいけんの里 廻田公民館
7月13日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除 外来生物駆除 北山小「八国山昆虫採取」を支援 夏まつり実行委員会	北川、北山公園 北山公園 八国山
7月27日	土	北川堰き止め作業、夏まつり買出し 狭山三公園管理運営協議会に参加	北川、他
8月3日	土	夏まつり準備	北山公園、他
8月4日	日	北山わんぱく夏まつり 外来生物駆除	北山公園、北川、八国山 北山公園
8月5日	月	北川の堰撤去作業	北川
8月10日	土	定例川そうじ	北川
9月7日	土	北山公園整備等意見交換会に参加 外来生物駆除	市民センター 北山公園
9月14日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除、トロのふるさと基金との共催イベント 北山小「魚とり」を支援 富士見・南台小「トンボとりと魚とり」を支援 「北山公園・八国山見どころマップ」秋編の編集 定例会 北山小「ヤゴいかだづくり」を支援 外来生物駆除	北川、北山公園 北川 北山公園、北川 八国山たいけんの里 北山小 北山公園
10月13日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除 北山小「トンボとりとバッタとり」を支援 かっぱ通信 129号発行	北川、北山公園 北山公園 廻田公民館
10月20日	日	北川クリーンアップ	北川
10月20日	日	外来生物の慰霊祭	北山公園
11月9日	土	定例川そうじ、北山いきものクラブ、外来生物駆除 富士見・南台小「野鳥を見よう」を支援 「北山公園・八国山見どころマップ」冬編の編集 定例会 かっぱウォーク	北川、北山公園 中央公園、空堀川 八国山たいけんの里 ?
12月14日	土	定例川そうじ かっぱ通信 130号発行	北川 廻田公民館